

夕張市財政再生計画の変更 (令和7年3月)の概要

- 本年1月21日に夕張市の財政再生計画の変更について総務大臣が同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、令和6年度及び令和7年度の各年度の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保等により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針等について変更はない。

I 歳入・歳出額の変更における主な内容

1 主な変更事項

令和6年度

- (1) 幸福の黄色いハンカチ基金積立 (+197百万円)
まちづくり寄附条例に基づく寄附(ふるさと納税)が当初見込みを上回っていることから、当初額を基金に積み立てる経費を計上するもの。
(財源) 寄附金収入 197百万円
- (2) 令和6年度退職手当 (+51百万円)
令和6年度内に自己都合等の予見できない事由により退職する8名の職員に支給する退職手当について、所要経費を計上するもの。
(財源) 一般財源 51百万円
- (3) 市道除雪経費 (+18百万円)
市道除雪の実施について、燃料費の高騰及び労務単価の上昇により、当該予算に不足が生じることから、不足分を増額するもの。
(財源) 一般財源 18百万円

令和7年度

- (1) 清水沢橋架替工事 (+122百万円)
凍害劣化による損傷が著しく構造本体の耐火性・耐久性に影響を及ぼす状態にあり、さらには現在の道路構造令の要件を満たしていない清水沢橋(車道)及び清水沢人道橋(歩道)について、架替工事を行うため必要な経費を計上するもの。
(財源) 国支出金 74百万円 地方債 48百万円 一般財源 1百万円
- (2) 老朽住宅除却工事(効果促進)(市営住宅再編事業) (+68百万円)
夕張市営住宅等長寿命化計画において計画的に改善工事と除却工事を実施

してきており、令和7年度も計画的に適切な除却工事を行っていくため必要な経費を計上するもの。

(財源) 国支出金 34百万円 地方債 34百万円

(3) デマンド運行及び受付業務委託料(交通問題対策) (+44百万円)

夕鉄バス市外線が令和5年9月に廃止されたことへの対応で開始したデマンドバスの運行に必要な経費を計上するもの。

(財源) 一般財源 41百万円 その他 3百万円(※利用料金)

2 性質別歳入・歳出の増減

令和6年度 ※令和7年1月21日に変更した令和6年度計画との比較

※令和7年3月変更後令和6年度計画額：107.3億円

【一般会計】

(1) 歳入

地方交付税の増(+97百万円)、国・道支出金の増(+16百万円)、繰入金の減(▲226百万円)、地方債の増(+4百万円)、その他の増(+193百万円)により84百万円の増

(2) 歳出

人件費の増(+51万円)、物件費の減(▲118百万円)、維持補修費の増(+18百万円)、公債費の減(▲32百万円)、繰出金の減(▲57百万円)、その他の増(+221百万円)により84百万円の増

令和7年度 ※平成29年3月7日に変更した令和7年度計画との比較

※令和7年3月変更後令和7年度計画額：104.1億円(変更前：91.5億円)

(令和6年度当初予算額：102.6億円)

(1) 歳入

地方税の増(+165百万円)、地方譲与税の減(▲5百万円)、地方交付税の増(+138百万円)、国・道支出金の増(+154百万円)、繰入金の増(+819百万円)、地方債の増(+45百万円)、その他の減(▲57百万円)により1,259百万円の増

(2) 歳出

人件費の増(+163百万円)、物件費の増(+1,075百万円)、維持補修費の減(▲28百万円)、扶助費の減(▲80百万円)、建設事業費の増(+39百万円)、公債費の減(▲128百万円)、繰出金の減(▲182百万円)、その他の増(+401百万円)により1,259百万円の増